

大阪経済記者クラブ会員各位

**「コモングラウンド・リビングラボ」のセミオープンについて**  
 ～大阪・関西万博を見据え、人とロボットが共に暮らす未来のプラットフォーム実現を目指す実験場～

【お問合せ】大阪商工会議所 産業部 (野間、玉川)  
 TEL 06-6944-6300

大阪商工会議所は、2025年大阪・関西万博を見据え、フィジカル空間とデジタル空間を融合する「コモングラウンド」の検討を進めてきました。その趣旨に賛同する多様な企業が世界初の共同実験場として、本日、「コモングラウンド・リビングラボ」を中西金属工業(株)(大阪市北区天満橋、中西竜雄社長)敷地内にセミオープンします。このラボは、様々な人の価値観に合ったスマートシティ向けのサービスやアプリケーション開発を後押しし、より豊かな都市生活の実現に貢献することを目指します。

**コモングラウンド：Society5.0 実現に貢献する汎用的な次世代都市のプラットフォーム**

- コモングラウンドは、大阪・関西万博が目指すSociety5.0実現に貢献する汎用的な次世代都市のプラットフォームです。建築物や都市の形状をはじめ、空間に存在する様々なものを3Dデータで記述することで、人とロボットが共通認識を持つことが可能になります。

**コモングラウンド・リビングラボ：異業種でコモングラウンドを実装・実証する世界初の実験場**

- コモングラウンド・リビングラボは、プラットフォーマー、サービス、メーカーなど様々な立場の企業が集い、コモングラウンドを実装・実証する世界初の共同実験場です。セミオープン時はシェアオフィス(95㎡)と共有実験場(138㎡)で構成し、階段や机などが3Dデータで記述されます。さらに照明・空調などのデータ取得や制御が可能になっており、リアルタイムでかつ双方向にやり取りできる環境を備えます。まずは、自律型モビリティとAR/VRが実験領域で、多様な企業がデータやノウハウを共有し、領域を融合させる研究開発を促進します。ラボの設備・機能は段階的に拡充し、2021年春にグランドオープン予定です。
- ラボは、コモングラウンド・リビングラボ運営委員会が会員制で運営します。現時点の参画予定企業は9社で、今後も幅広くメンバー企業を募集していきます。



以上

<コモングラウンド・リビングラボの概要>

**運営主体** コモングラウンド・リビングラボ運営委員会 (以下6社・団体に構成)



**所在地** 中西金属工業(株) (NKC) 本社内 (大阪市北区天満橋3-3-5)

**運営体制** 会員制 (運営委員、ゴールドメンバー、シルバーメンバー、ユーザーで構成)

**参画予定企業** ゴールドメンバー (以下5社)

(11/30 現在)



シルバーメンバー (以下4社)



<添付資料> 「コモングラウンド・リビングラボ」メンバー募集ご案内



COMMON  
GROUND  
LIVING  
LAB

## 人とロボットが共に暮らす未来社会へ 異業種企業が集まる世界初の実験場

多様な企業との連携  
を通じたオープンな  
研究開発エリア

コモングラウンド・リビングラボは、将来コモングラウンドを活用したスマートシティ向けサービスやアプリケーション、製品を提供する企業にとってのオープンなインキュベーションエリアです。多様な企業との共創、ネットワーク形成に加え、コモングラウンドを活用した新しいサービス開発に先行してチャレンジできます。それぞれの企業が、関心のある領域において戦略的に参画し、多様な企業との連携を通して、実験データの収集・分析を繰り返すことで、サービス、プラットフォームそれぞれの技術・運営ノウハウを段階的に蓄積・更新をしていく新しい試みです。

ラボは、万博や都市への展開の第一ステップ

今後、コモングラウンドを活用した実験データの集積を通じて、2025年大阪・関西万博、およびその後の都市での実装につなげていきます。

「コモングラウンド・リビングラボ」メンバー募集！

コモングラウンドとは？

# 人とロボットが共通認識を持つ未来社会をつくる

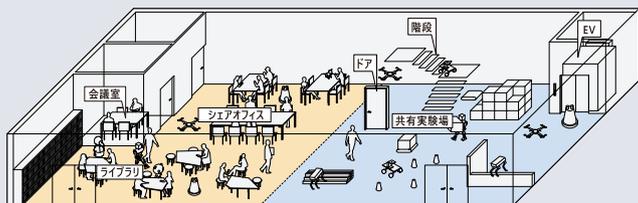
コモングラウンドは、(株) gluonパートナーで(公社) 2025年日本国際博覧会協会People's Living Lab 促進会議有識者の豊田啓介氏が提唱する概念で、大阪・関西万博が目指す「Society5.0」実現に向けた汎用的なインフラとなりえるプラットフォームです。建築や都市の3Dデータをインデックスに、空間に存在する様々なものをデジタル情報として記述し、フィジカル空間とサイバー空間をリアルタイムにシームレスにつなぎ、人とロボット(デジタルエージェント)が共通認識を持ち得る社会の実現に貢献します。



コモングラウンド・リビングラボ

## 異業種が集まり、試して作れる世界初の実験場

コモングラウンド・リビングラボは、コモングラウンドプラットフォームを実装・実証する世界初の実験場で、中西金属工業(株)の本社敷地内の一角に設けられています。実験領域は、まずは自律型モビリティやAR・VR等が対象です。2020年度内はセミオープン期間とし、データの収集・分析を繰り返しながら、より良い環境に更新・拡充していきます。



※この画像はイメージで、実際の実験場とは異なります。

メンバーシップ

【運営委員】運営委員会に参画、ラボの構築・維持、構築費や人的負担(作業チームのリード)、交流事業の企画などを担う。

【ゴールドメンバー】ラボの構築・維持に、構築費のほか、交流事業の企画などを担う。

【シルバーメンバー】ラボの維持に、維持費のほか、交流事業の企画などを担う。部分的なデータ共有がある。

【メンバー】実験費用を支払うことでラボを利用できる。データについては、自身が実施した実験データの利用権のみを有する。

※実験費用は、セミオープン中に正式に決定。

※上記のほか、ディレクター((株)gluon豊田啓介氏)、サポーター(大阪商工会議所、(株)三菱総合研究所)、アドバイザー(学識者等)を設ける。

コモングラウンドをご利用いただきたい企業

## 多様な企業が関心のある領域において戦略的に参画

- A) コモングラウンド・プラットフォーム  
コモングラウンドの物理的・情動的な環境を整備  
e.g. デベロッパー、鉄道会社、通信事業者、地図会社、ゲーム会社など
- B) サービサー  
コモングラウンド環境の中で各種サービスを提供  
e.g. 自律型モビリティベンチャー、ARナビゲーションベンチャー、環境シミュレーション、AR決済、XRコンテンツベンチャーなど
- C) メーカー  
コモングラウンドとサービサーを連動させる各種ハード/ソフトを開発  
e.g. 建材、センサー、各種アクチュエーター、通信機器、塗料、電機メーカーなど

	構築費用 (加入時)	維持費用 (月額)	交流事業 アクセラ レーション等	実験費用 (毎回)	共同 プレス	データ 共有
運営委員	360万円 以上	10万円	○ 企画	×	○	◎
ゴールド メンバー	360万円	10万円	○ 企画	×	○	◎
シルバー メンバー	×	10万円	○ 企画	×	×	○
ユーザー	×	×	△ 参加	○	×	×

最新情報/  
参加の申込

より詳細の資料のダウンロードや、イベントなど最新情報、参加の申込については、下記URLまたは右のQRコードよりご確認ください。  
<https://cgll.osaka>  
※ご来訪の際は事前予約が必要です。



問合せ先 コモングラウンド・リビングラボ運営委員会 info@cgll.osaka  
〒530-8566 大阪市北区天満橋3-3-5 中西金属工業(株) 本社内  
運営 コモングラウンド・リビングラボ運営委員会  
構成:(株)竹中工務店、中西金属工業(株)、(株)日立製作所、  
(株)gluon、大阪商工会議所、(株)三菱総合研究所